

ビーナイン® 顆粒水溶剤

(B-NINE WSG)

登録番号 第22759号
 種類名 ダミノジッド水溶剤
 daminozide
 性状 黄赤色水溶性細粒
 有効年限 4年

有効成分 ダミノジッド 80.0%

PRTR 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (PRTR・1種) 1.2%

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包装 (100g×10本)×6箱

■特長

1. 花類には開花の時期、花や葉の大きさ、結実などに影響なく、節間の伸長だけを抑制します。



■適用作物名及び使用方法

(2021年4月21日現在)

作物名	使用目的	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	ダミノジッドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
きく (切花用) (施設栽培)	節間の伸長抑制	500～5,000	50～150ℓ /10a	生育期	4回以内	6回以内		
	花首の伸長抑制			発蕾期～ 摘蕾期	2回以内			
きく (ポットマム) (施設栽培)	節間の伸長抑制	200～400	5～10mℓ /5号鉢	摘芯後7～10日 または 定植3日後から 発蕾初期	3回以内	3回以内	茎葉散布	
ポインセチア (施設栽培)		100～200	50～150ℓ /10a	定植後 3～30日	1回	1回		
ハイドランジア (施設栽培)				育苗期摘芯後 10～30日	2回以内	4回以内		4回以内 (育苗期は 2回以内、 定植後は 2回以内)
				定植後 3～30日				
はぼたん (施設栽培)				200～400	子葉展開後 鉢上げ後	4回以内		
ペチュニア (施設栽培)				100～200	定植後 2週間目	1回		6回以内 (水溶剤は 4回以内)
				200～400	鉢上げ後	4回以内		
アザレア (施設栽培)				150	摘芯後 30～40日	1回		3回以内
				200～400	摘芯後 30～120日	3回以内		
あさがお (施設栽培)				400～800	本葉 5～7枚の時	1回		1回
パンジー (施設栽培)	200～400			鉢上げ後	4回以内	4回以内		
シクラメン (施設栽培)	花梗・葉柄の伸長抑制	300	7mℓ /4号鉢	花芽揃期	1回	3回以内		
				花梗再伸長時	2回以内			
しゃくなげ (施設栽培)	節間の伸長抑制、 着蕾数増加	75～100	100mℓ /5号鉢	新梢伸長完了期 を1回目として 3回処理 (1カ月間隔)	3回	3回		

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 移動可能な容器（鉢、プランター、コンテナ等）を用いて栽培する場合、施設の外に移動して栽培・管理する期間は、使用しないでください。
また、施設を撤去して栽培・管理する期間は、使用しないでください。
3. 散布の際は、作物の生長点を中心に葉面散布してください。
4. 銅製剤との混用及び近接散布は薬害を起こすのでさけてください。銅製剤散布後に使用する場合は1カ月以上の間隔をあけて使用してください。
5. はばたんについて以下のことを注意してください。
 - (1) 子葉展開後から使用する場合、1回目は種後10日目を、2回目は種後20日目を目安に散布してください。また3回目は鉢上げ3～5日後を、4回目は3回目処理の1週間後を目安に散布してください。
 - (2) 使用時期が遅い場合には着色が遅延する場合がありますので、適切な使用時期を逸さないよう注意してください。
6. ペチュニアについて以下のことを注意してください。
 - (1) 鉢上げ後に使用する場合、1回目は鉢上げ1週間後を目安に散布し、2回目以降は1～2週間程度の間隔で散布してください。
 - (2) 着蕾期に使用すると花色が薄くなる場合や、花が小型化する場合がありますので、着蕾期の使用はさけてください。
7. パンジーに使用する場合、1回目は鉢上げ後1週間後を目安に散布し、以後は1週間程度の間隔で散布してください。
8. シクラメンについて以下のことを注意してください。
 - (1) 複数回処理する場合は、必ず花芽揃前に1回散布し、散布間隔を1カ月程度空けてください。
 - (2) 花梗再伸長時の処理では、花卉の小型化や開花の遅延などの薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
9. 植物成長調整剤であり、乱用すると生育に悪影響を及ぼすので所定の使用量、使用方法及び使用回数を必ず守ってください。
10. 花きの種類、散布液の濃度等によって効果の持続期間が異なるので、必要に応じて繰り返し散布してください。
11. 散布に当たっては銅製剤を調製した容器、散布に用いた器具は十分洗浄してから使用してください。
12. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意  

13. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
14. 散布の際は、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
15. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
-

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。